

No.98

議会だより にしあいづ

2007.8.6

発行：福島県西会津町議会
編集：議会広報特別委員会
〒969 - 4495
福島県耶麻郡西会津町野沢
字下小屋上乙3261
TEL 0241 - 45 - 4537



第32回奥川健康マラソン大会

妊婦健康診査の無料化…2P
議会新体制紹介…10P

まちの考えを問う…4P

8人

一般会計

子育て支援

妊婦健康診査の無料化を追加補正

6月 定例会

6月議会定例会は、6月8日から12日
まで5日間の会期で行われました。

補正予算 1, 181万3千円

総額 50億381万3千円

今次補正では、子育て支援の一環として、7月1日から妊婦健康診査の15回分、全てを助成することや、複式学級解消のための、臨時職員賃金、戸中集落バイパス整備の用地取得などが計上されました。特別会計の農集排処理事業、個別排水処理事業、老人保健の補正予算と請負契約2件、条例改正2件の議案はすべて原案のとおり可決されました。

報告事項では町振興公社の経営状況や喜多方土地開発公社の経営状況など4件が承認されました。

質疑

専決処分の承認

条例の一部分を改正する

内容 地方税法の改正により、住宅のバリアフリー改修に係る固定資産減額や、株式譲渡所得に係る個人住民税の課税特例措置の延長

問 バリアフリー化する工事に係る経費への対応と期間はどの程度か。

総務課長

バリアフリーに関する軽減措置は5年間。平成19年1月1日現在居住する家屋に関するもので、これからの新築には該当しない。経費助成については、30万円を超える工事の3分の1である。

問 町内において、法人課税信託の該当する所はあるか。

総務課長

本町では現在、該当箇所はない。

税特別措置条例の一部を改正する

内容 過疎地域自立促進特別措置法の課税免除などに関する適用期間を、平成19年3月1日から2年間延長するもの。

一般会計補正予算 (第一次)



元気な赤ちゃんに子育て支援を

内容 妊産婦検診の無料化に伴う経費、職員の通勤手当、複式学級解消のための臨時職員賃金など1千181万3千円を追加補正したもの。歳入では、県補助金や財産収入、特別会計からの繰入金を計上し、総額50億381万3千円。

問 妊婦健康診査国・県の補助金差額を町が補填するのが、町の妊婦数を何名としているか。

15回の検査で1回当たりの検査料はどの位か。

健康福祉課長

妊婦検診は、5回分は国の財政措置があり、10回分は、県・町で助成する。1回当たりの助成金額は、前期健康診査が6千770円、後期健康診査が6千120円、それ以外の13回は、すべて4千円である。本年度の妊婦は45名を見込んでいます。

問 複式学級への臨時職員の対応について、町単独事業か、県補助との関係はどうなっているか。講師の手配はどうか。

教育長

奥川小学校への非常時対策である。学級編成時複式16名であったが、3月中旬に1名転校したため、県補助がなくなった。当分の間、町単独で1名を配置して、2名の非常勤講師で対応したい。講師の採用は内諾してある。

問 教育財産貸付収入471万6千円の内容は。教育財産を教育に関係のない所に貸付できるのか。住居の改修経費はどこが負担するのか。

教育課長

国道459号線山都町宮古地内のトンネル工事にもなう作業員の住居として、奥川寄宿舎を5月21日から来年3月31日まで貸付けるもの。貸付に当たっては、文科省の省令に基づき、学校長・PTA・町当局と協議し、短期間であることから決定した。貸付金は、行政財

産使用条例により算定した。内部の住居改修は業者が行う。

問 使用していない教育財産は、今後普通財産に移行する考えはないか。

教育長

通学はスクールバスで送迎されており、寄宿舎の使用はこれからはないと思う。教育財産の一部を普通財産に移行するこ

とについては、今後検討したい。

問 職員の通勤手当には1km当たりの基準があると思う。現在ガソリンが高騰しているが、基準そのものを見直す考えは。

総務課長

通勤手当は、2km以上4km未満・以後2km刻みで設定している。今回、基準の改定は行わない。



貸付している奥川寄宿舎

**農業集落排水事業
野尻地区・処理施設
請負契約**

内容 計画人口950人、上野尻と下野尻を対象に、平成16年度から2カ年の継続で進められてきた事業である。今回、処理施設に係る用地の造成と、処理槽設置工事で、機械電気設備工事を除いたものである。5社による一般競争入札の結果、(株)飯豊建設が6千880万円で落札した。工事期間は平成20年2月29日。

**町縦貫道路建設
戸中改良工区請負契約**

内容 本工事は、野沢と奥川を結ぶ、町縦貫道路計画であり、平成15年度より進められてきたものである。今回は、野沢柴崎線の改良工事で、戸中地区の北側に延長47m、幅員8m、2車線の計画のうち、328m分の改良工事である。5社による一般競争入札の結果、(株)長谷川建材が5千950万円で落札した。工事期間は、平成20年1月31日。

の利益をあげることができた。しかし、繰越欠金は3千285万円あり、これを解消する経営努力が必要である。

問 経営改善で300万円の利益を得たが、主な経営改善の内容は何か。専務が交替した理由は。専務の不在した期間の人工費が300万円ではないか。

経済振興課長
改善の主な内容は、適正な在庫管理による所が大き。専務の交替は、本人の希望であった。利益はあくまでも、経営努力の結果である。

問 電気工事と機械設備を除いた工事であるが、これまでは一括発注していたのではないか。分離した理由は。

地域整備課長

電気と機械工事については、2カ年の継続として債務負担を設定している。今回は、本体工事を先に発注し、その後に電気・機械を専門のプラント業者に発注したい。

振興公社（平成18年度）の運営状況

内容 町振興公社は、指定管理者となつて初年度である。経営環境は厳しいが、旅行業や顧客の確保など内部の経営改善を図ってきた。その結果、債務超過を解消し300万円

報告事項

その他
喜多方地方土地開発公社の事業報告
西会津町国民保護計画（武力攻撃事態における国民の保護のための法律による）

いっぱい質問

まちの考えを問う

質問項目一覧（質問順）

荒海清隆議員

福祉行政について
携帯電話のエリア拡大について

鈴木満子議員

貧困・格差社会の問題について
子どもの医療費無料化年齢の引き上げについて
芸術村構想について
パイプハウス利用の緩和策について

青木照夫議員

ICTのまちづくりについて

佐野悦朗議員

役場内の行政資料コーナーの独立設置について
町が受けた表彰物の掲示場所の移動について
ICTのまちづくりについて

須藤又市議員

今後の町政運営について
道の駅よりっせの利活用について
野沢駅跨線橋改善について
ロータスイン休憩所付近へのトイレの設置について

長谷川徳喜議員

町民生活における問題について
高齢化及び過疎化対策について

伊藤勝議員

年金問題について
敬老対策の改善について
町長交際費の町ホームページでの公開について

清野興一議員

町財政の健全化について
ケーブルテレビの光ケーブル計画の見直しについて
国民健康保険税条例の改定について
各種税金や料金の高騰対策について

問 ケーブルテレビに代わるワイマックスといわれる次世代のケーブルテレビ方式も発表されている。本町の考えは、

町長 ケーブルテレビ伝送路の光ファイバー化は、効率的な財源の運用を図り、年次計画のもとに実施していく考えである。

問 ケーブルテレビ開局十周年式典で町長は、デジタル化に向けたオール光ケーブル化に整備すると、10億から13億円の工費が必要と述べている。阿賀町では事業の凍結を議会で決定したと聞く。オール光ケーブル化の時期について変更する考えはないか。

町長

問 ケーブルテレビ開局十周年式典で町長は、デジタル化に向けたオール光ケーブル化に整備すると、10億から13億円の工費が必要と述べている。阿賀町では事業の凍結を議会で決定したと聞く。オール光ケーブル化の時期について変更する考えはないか。

町長

公設公営ケーブルテレビとしての役割を十二分に果たすとともに、創意

工夫を凝らし、効率的な運営に努めていく考えである。

オール光ケーブル化の時期は
年次計画に基づいて実施

佐野悦朗議員



開局10周年を迎えたNCT

通信インフラ整備の再検討を

光ファイバー敷設で安定的に提供する

青木 照夫 議員

問 高速無線通信技術は、経費が格段に軽減できるといわれている。通信インフラ整備の再検討の必要があると思うが、町当局の所見を伺う。

町民情報課長

「ワイマックス」などの無線利用については、まだ実現に向けた実証実験の途上であり、本町に適しているか不明である。光ファイバー敷設で、安定的に提供したいと考えており、町民の安全安心やユビキタスネット社会の実現を図っていきたい。

問 地デジ再伝送サービスが開始され、次の諸点を尋ねる。

(1)現在のSTB(セットトップボックス)の申し込み件数は、

(2)どのようなタイプ

の受信機が多かったか。
(3)需要はどのくらい見込み、STB設置予算はどのくらいか。

町民情報課長

6月4日現在のSTB

利用数は89世帯、95台である。受信機タイプは把握していない。需要見込み、設置予算は、平成19年度予算で200台、リース料として137万8千円を計上している。



光ファイバーケーブル化を目指して

今後、町づくりをどう進めるか

ボランティアの精神を基本理念に

須藤 又市 議員

問 社会経済の情勢は長引く景気の低迷によって、不透明な状態が続いている。今後、行財政改革と町づくりをどう進めるか伺う。

町長

現在、町民・議会・行政の三者で町づくり委員会を組織し、住民自治基本条例の策定に取り組んでいる。協働による町づくり」とは、ボランティア精神を基本理念として、三者の役割や責務などを明らかにし、ルールを確



協働の町づくりを

立するものである。今後、少子高齢化問題など各種計画の策定を町民の皆さんと一緒に進めたい。

問 道の駅「よりっせ」の利活用については、町情報の発信拠点として、またミネラル農作物の展示や販売など効果をあげている。今後の経済活性化について方針を伺う。

経済振興課長

「道の駅」は農林業振興対策の一環として、地域経済の活性化を目的に整備したものである。平成18年度には、年間34万人の利用客が訪れている。町の特産物・商工観光・史跡名所・町内産業のPRなどを促進していきたい。ミネラル野菜等については、生産者自らが売場に立つなど販売拡大に努めている。

過疎化の防止対策と責任は

若者定住と少子高齢化対策を進める

長谷川 徳 喜議員

を安心して生み育てられる環境づくりのための諸政策に加え、子育て支援の拡大を図り、妊婦健康診査を全額無料とする。また、新たな企業誘致はまだ厳しい社会情勢の中にある。ケーブルテレビを核とした情報インフラを基盤とし、若者の定住に力を入れていく。

「協働のまちづくり」

の考え方に基つき、農地・水・環境保全向上対策事業」を有効活用し、集落機能の維持・保全に努めていく。高齢者が安全で、安心して暮らせるま

ちづくりと若者の定住と少子化対策に積極的に取り組んでいる。

問 野沢駅から列車に乗降する時の階段の登り降りが高齢者にとって容易ではない。階段を利用しないで乗降できないか。その対策と方法は。

経済振興課長

野沢駅跨線橋改善については、県鉄道活性化対策協議会を窓口にして県の重点施設改善要望事項としている。今後も粘り強く要望していく。

問 町は過疎化が急速に進み、このままでは近い将来、家系は断絶、集落の崩壊は目に見えている。この防止対策と行政責任は。

町長

過疎化と少子高齢化が急速に進む中、若者の定住と少子化対策を重点課題ととらえている。就業機会の確保や生活環境の整備を進め、都市との環境格差を解消し、住みよいまちづくりを進める。少子化対策は、子ども



環境保全に取り組む集落共同作業

問 社会保険庁のさまざまな管理によって、5千万件の年金記録漏れが宙に浮いている。国民年金の事務を担当する町の対応について伺う。

町の年金加入者の状況

年金加入記録の確認方法と啓蒙活動を。

年金問題相談窓口の開設については。

町民情報課長

17年度末で、国民年金加入者は1764人、受給金額は20億4288万円。厚生年金では、9億7千万円となっている。年金記録の確認方法は、社保事務所の窓口で行なっている。また町での相談窓口は町民生活係を通して、社保事務所に照会していきたい。

宙に浮いた年金問題の窓口相談を 町での相談窓口は町民生活係で

伊藤 勝議員



年金相談窓口は町民生活係です

問 町長交際費について、自ら進んで公表してはどうか。

条例に基づいて請求すれば、基本的に公開するのか。

ホームページで公開する考えはないか。

総務税政課長

交際費は、外部との交渉等、町政を円滑に執行するための必要経費である。社会通念上の礼儀の範囲内である。交際費の公開は、特殊な性格からしていない。HPの公開は充分検討したい。

介護施設の待機者と入所の見込みは

入所は重度な方を優先的に

荒海清隆 議員

問 本町では「トータルケアのまちづくり」を推進しており、その評価は高い。しかし、高齢化が進む中、本町の施設には待機しなければ入所できない要介護者がいる。待機者の実態と入所の見通しは。

福祉関連の雇用は経済効果が大きく、特に重度障がい者施設の併設等、福祉関連施設の誘致を考えてはどうか。

町長

本町の介護施設での待機者数は、合計124名である。町では、待機者の家庭環境や要介護者の介護度を把握して、重度な方を優先的に入所できるようにしている。

雇用と経済効果の面からみると、6億7千万円ほどが町に支出されて

おり、経済的な効果が認められる。障がい者施設は、県内で広域的な調整により計画的な整備が図られている。



望まれる待機者の解消

振興公社は独立採算に

営利事業は独立採算で運営

清野興一 議員

問 町振興公社は、運動公園や温泉施設などの指定管理者となっているが、温泉施設などの営業部門の委託料は約4千万円となっている。運動公園は別としても、営業部門は独立採算を追求すべきではないか。

経済振興課長

公社の事業は、さゆり公園や温泉施設・ふれあい交流施設・森林活用交流施設などの公的施設の受託管理と営利事業としてロータスインの宿泊・レストランや温泉休憩室の飲食など独立採算で運

営している。町はこれらには負担していない。オートパーク施設は、ロータスインとの一体的な管理運営を図り、独立採算を目指している。

問 国保の支払準備基金の25%条項を見直す考えはないか。

健康福祉課長

医療費の値上げや流行病の発生等の不測の事態

への備えや安定した国保財政の堅持のためには必要である。平成7年度から3期の国保財政5カ年計画を実施し基金を取り崩すことにより被保険者の税負担の平準化と軽減を図っている。平成15・16・17年度には、交付金の大幅減や医療費の予想以上の伸びにより基金を取り崩し、不足財源の補填をしている。



指定管理者で運営する温泉保養施設

芸術村事業の最終目的は

国際交流と町全体の活性化を

鈴木満子議員

問 芸術村事業は、3年目を迎えたが、展望が見えてこない。町は「芸術村」をどう位置付けし、最終目的をどのように考えているのか。

教育課長 本事業は、「文化の薫り高い芸術の里づくり」を進めるため、木造校舎である旧新郷中学校を国内外の芸術家に創作の場として提供している。芸術を通じた国際交流と都市・地方を結ぶ拠点として活用し、新郷地域はもとより、町全体の活性化を



ポルトガルからの芸術家 イネス・モタさん(右) リタ・ヴァルガスさん(左)

図ることである。

問 パイプハウスの利用状況と生産量、販売量はどのようになっていくのか。

経済振興課長

平成16年度から耐雪型パイプハウスのリース事業を実施し、5年間で70棟を導入する計画であり、

今までに51棟が設置され、今年度は10棟を設置する予定である。

生産量と販売量は、27棟のハウスでトマト、きゅうり、インゲン、ほうれん草などが栽培され、6品目で約66t、生産高で2千170万円となっている。

表彰

特別功労表彰

自治功労表彰

6月5日開催の福島県町村議会議長会定期総会において、長谷沼清吉議員と長谷川徳喜議員の2名が議会議員として20年以上在職した功労により、特別功労表彰を受賞されました。

また、大沼洋平議員、長谷川覚議員、須藤又市議員、佐野悦朗議員、武藤道廣議員の5名が議会議員として11年以上在職した功労により、自治功労者表彰を受賞されました。

各表彰とも6月議会定例会初日に表彰状が伝達されました。



長谷川徳喜議員



長谷沼清吉議員



武藤道廣議員



佐野悦朗議員



須藤又市議員



長谷川覚議員



大沼洋平議員

臨時議会

7月6日、改選後初の議会が開かれ、議会構成が次のように決定しました。

議長 大沼 洋平
副議長 武藤 道廣

総務常任委員会

委員長 渡部 昌
副委員長 青木 照夫
委員 伊藤 勝
" 長谷川徳喜
" 長谷沼清吉
" 多賀 剛
" 大沼 洋平
(7名)

【所管事務】

まちづくり政策室
総務税政課
健康福祉課
教育委員会
監査委員
選挙管理委員会

経済常任委員会

委員長 清野 佐一
副委員長 五十嵐忠比古
委員 清野 興一
委員 清野 邦夫
" 荒海 清隆
" 目黒 一
" 武藤 道廣
(7名)

【所管事務】

経済振興課
地域整備課
町民情報課
農業委員会

議会運営委員会

委員長 清野 邦夫
副委員長 長谷沼清吉
委員 清野 興一
" 伊藤 勝
" 長谷川徳喜
" 清野 佐一
(6名)

補正予算

議会臨時会が7月19日に開催されました。主な内容は、国保税の本算定による本年度の税率の改正です。一般会計の補正予算では、平成20年度から始まる後期高齢者医療制度に伴う、電算システム業務に関する予算などが計上されました。今次補正によって一般会計総額は、50億2千1百万円となりました。

国民健康保険税条例の一部を改正する条例

内容 本年度、町国民健康保険の被保険者数は3千869人(昨年比207人減)一人当たり・5万995円(昨年比7千847円減)一世帯当たり・10万2千976円(昨年比1万955円減)となりました。

問 減税となった内容と財源の確保は、隣接市町村との比較においてどのような位置にあるか。

総務税政課長

町が推進するトータルケの効果大きい。財源については繰越金の一部と、基金積立金から毎年2千万円を繰り入れて減

税財源に充てている。隣接町村との比較では旧山都町に次いで安くなっている。

一般会計補正予算

国保特別会計への繰入金(国保税徴収システム回収分)690万円
後期高齢者医療システム開発業務委託料1千500万円

農業集落排水事業 野尻地区(第2回) 請負契約

内容 先回は用地と建物の工事であったが、今回は電気・機械設備工事である。2カ年の継続で行う。機器に特殊性もあり、町内に該当する業者はなく、郵便による初めての条件付一般競争入札を10社に行った。その結果、仙台市の共和化工(株)が8千299万円で落札した。工事期間は平成21年2月27日。



健康管理で医療費減

新体制がスタート

議長に大沼洋平氏、副議長に武藤道廣氏



副議長
8番
武藤道廣
(新町)

このたびの初議会におきまして副議長に選任いただき、大変光栄に、かつ責任の重大さを痛感しております。議会の活性化と円滑な議会運営を目指し、議長と二人三脚で職責を全うするよう努力します。

我が町は、自立の町を宣言し、町づくり委員会で協働の町づくりに向けた動きがスタートしています。議会も町政のチェックとサポートや議会の責務を果たすべく議論を



議長
9番
大沼洋平
(本町)

このたびの初議会において議長に選任されたことを、真摯に受け止め、微力ではありますが、真の公正な議会運営に努めてまいる所存であります。

西会津町のみならず、地方自治体の現状は、財政問題をはじめとし、急速な過疎化など多くの課題を抱えているのが現状であります。

このような時こそ町民と議会、執行機関は、そ

それぞれの役割を果たし、協力しながら、まちづくりに努めなければならぬと考えております。

これから、ご指導、ご鞭撻くださいますようお願い申し上げます。

生年月日 昭和16年3月27日
職 業 会社員
当選回数 4回
主な略歴 喜多方高校卒、福祉厚生常任委員長

活発にし、町政の進展と開かれた議会にとめます。今後とも皆様方のご指導とご支援をお願い申し上げます。

生年月日 昭和27年10月12日
職 業 建築業・農業
当選回数 4回
主な略歴 喜多方高校卒、町監査委員、西中PTA会長、町消防団庶務本部長



3番
青木照夫
(上原)

生年月日 昭和20年4月1日
職 業 無職
当選回数 2回
主な略歴 耶麻高校卒、会社員、経済建設常任委員、会副委員長



2番
多賀剛
(上原)

生年月日 昭和36年2月20日
職 業 会社役員
当選回数 1回
主な略歴 拓殖大学卒



1番
目黒一
(牛尾)

生年月日 昭和22年7月24日
職 業 農業
当選回数 1回
主な略歴 喜多方高校卒、団体職員、町消防団第2分団長



6 番
渡部 昌
(上野尻)

生年月日 昭和9年5月15日
職 業 無職
当選回数 3回
主な略歴 喜多方商工高
校卒、会社員、
町監査委員、
町商工会長



5 番
清野佐一
(下小島)

生年月日 昭和23年1月1日
職 業 農業
当選回数 3回
主な略歴 会津農林高校
卒、町消防団
第2分団長、
福祉厚生常任
委員会副委員
長



4 番
荒海清隆
(小綱木)

生年月日 昭和21年11月9日
職 業 農業
当選回数 2回
主な略歴 西会津高校卒、
会社員



11 番
長谷川徳喜
(松尾)

生年月日 昭和12年8月5日
職 業 鉄工業
当選回数 6回
主な略歴 耶麻農高校卒、
福祉厚生常任
委員長、消防
団第2分団第
2部長



10 番
長谷沼清吉
(小清水)

生年月日 昭和18年11月10日
職 業 農業
当選回数 6回
主な略歴 会津農林高校
卒、農業委員
会長、JA理
事、町議会議
長



7 番
五十嵐忠比古
(滝坂)

生年月日 昭和25年2月1日
職 業 会社員
当選回数 3回
主な略歴 会津伝習農場
卒、町交通安
全協会西会津
支部長



14 番
清野興一
(大久保)

生年月日 昭和16年7月14日
職 業 旅館業
当選回数 9回
主な略歴 日本福祉大卒、
総務・建設各
常任委員長、
町監査委員



13 番
清野邦夫
(大久保)

生年月日 昭和21年7月5日
職 業 旅館業
当選回数 9回
主な略歴 千葉商科大卒、
会社員、町議
会議長、議
会運営委員長



12 番
伊藤 勝
(牧)

生年月日 昭和24年9月25日
職 業 会社員
当選回数 7回
主な略歴 西会津高校卒、
総務文教常任
委員長

